

貴重な経験をさせていただいた19年間

PES旧友 下條 信幸氏



入社したのは昭和63年4月でした。ただ3月からはアルバイトとしてほぼ毎日出勤していたので、4月になって新たな社会人としてスタートすると言う気持ちというのはあまり無かったな、と今思い返せば感じます。

入社当時の思い出としては、とにかく忙しい時期でほぼ毎日深夜12時近くまで、かつ土日でも無かったと記憶していますが、幸か不幸か、いきなり荒波に飲まれた様なもので、5月病になるような余裕(?)もなく、何とか乗り切ったらそのハードワークが当たり前になっていたという事でしょうか。

様々な物件に携わり、様々な施主や設計事務所と関わることが出来たのは、ペスにいたからできた事であり、その経験が今に繋がっているのは間違いないので、在籍した19年間は非常に有意義でした。

多くの仕事の中で一番印象に残っている物件は、「四万十いやしの里」でしょうか。当時まだグリーンビルディングという考え方が定着して無い時に、設備だけでなく建築を含めて実践できた事。そのプロジェクトに深く関わることが出来た事。とにかく大変でしたが、貴重な体験が出来ました。

それからペスに在籍したからこそ体験できたことは、やはりアメリカに行く機会に恵まれた事です。初めてサンフランシスコ、ニューヨークを訪れた時のことは、いまでも鮮明に覚えています。今まで見たこともない景色、マンハッタンのビル群、そして様々な人種の人々。建築の考え方は基より、生活スタイルにおいても学ぶことは多く、自分にとって大きな影響があったのは間違いありません。その経験が出来たことは大変感謝しています。

50年もの時を設計事務所として存続させることは、大変なご苦勞があったと思います。その間、他の設計事務所とは違った色を出し続けて来られたことは、石黒所長をはじめとした皆様の努力の成果であると思っています。

ペス建築環境設計50周年おめでとうございます。これからの益々のご発展をお祈り申し上げます。